

Panasonic[®] コンパクト漏電ブレーカSHE型

漏電ブレーカ SHE-30

8M5 858 007

施工説明書

取扱説明書

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

施工説明書

施工店様へ

- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
- 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

危険

- 施工・点検時には必ず主電源を切る
電源が入ったままの施工は感電の原因になります。
- 線間電圧による感電の保護はできません
2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません。

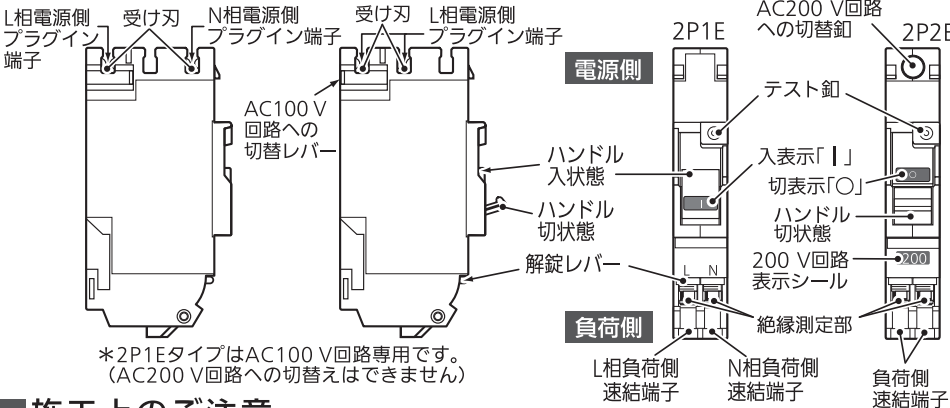
注意

- 他社製分電盤には取付けない
(パナソニック製分電盤コンパクトシリーズ専用)
他社製分電盤に取付けると、発熱・発火の原因になります。
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。
- 負荷側速結端子への接続は、接続完了表示(オレンジ色)が出るまで、電線を奥へ確実に差込む
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。

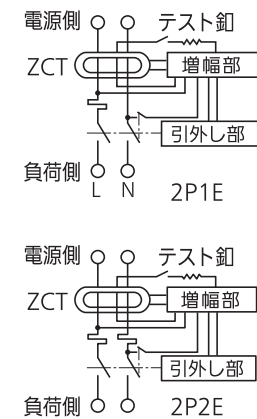
各部のなまえ

AC100 V回路のプラグイン端子位置

AC200 V回路のプラグイン端子位置



回路図



施工上のご注意

- 端子のL相とN相を正しく接続してください。(2P1E：AC100 V回路専用機種の場合)
- 温度(+40℃以上)・湿度・粉塵・腐食性ガス・振動・衝撃・直射日光など、異常な周囲環境での使用は避けてください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80 %以下としてください。(内線規程)
- 施工時、機器内部に異物(電線クズやコンクリート壁材など)が入らないようにしてください。
- ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には、警報回路を併用してください。(内線規程)
- 周波数制御回路(インバータ機器)には、配線保護用として一次側にブレーカを設置してください。

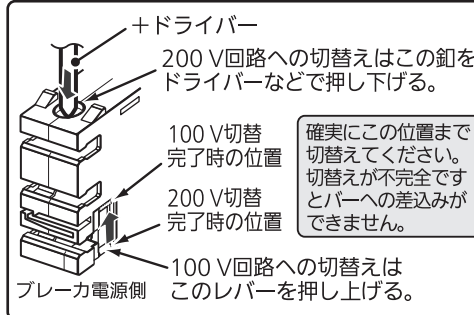
ブレーカの取付け・取外し

【取付け前に(2P2Eタイプのみ)】

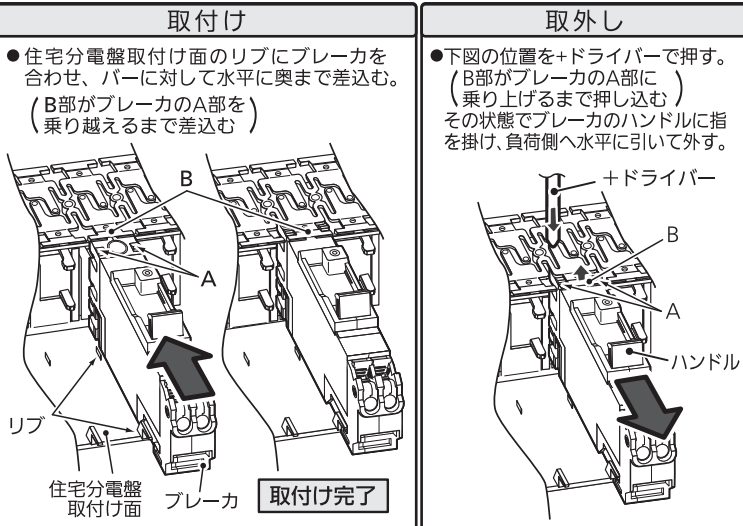
- プラグイン端子の受け刃の位置を確認してください。

〔負荷の使用電圧に合わせ、受け刃の位置を切替えてください。分電盤に取付けた状態では切替えできません〕

《切替え方法》



《住宅分電盤への取付け・取外し例》



速結端子への電線接続

*Cu(銅)単線専用(より線の場合は棒圧着端子使用)【下表参照】

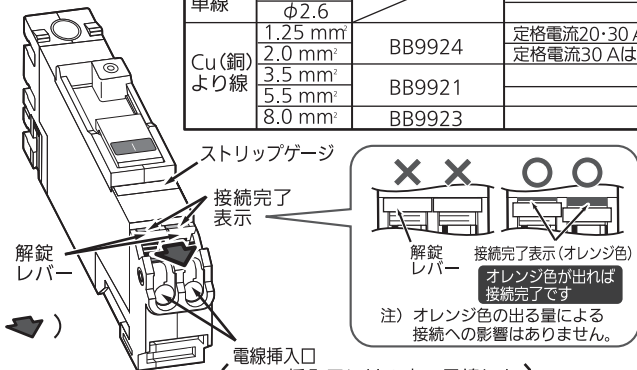
- 電線の被覆をむく。
〔本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく〕
- 電線を差込む。
〔電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差込む〕

注) ●電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。電線をむき直してから接続してください。
●オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、接続し直してください。

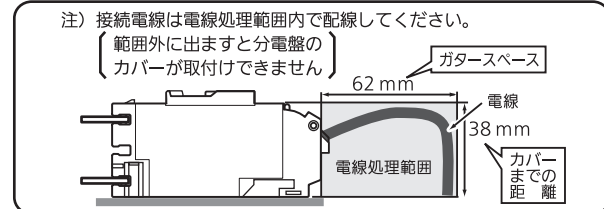
*電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向(←)に引きながら電線を引いてください。

〔φ2.6および8.0 mm²電線は抜きにくい場合があります。
そのときは本体を分電盤から取外し、電線を抜いてください〕

注) 解錠レバーの操作力は約7 Nです。押込み荷重が高すぎる(100 N以上)と破損にいたる場合があります。



接続可能電線		適合棒圧着端子品番	注意事項
		パナソニック製	
Cu(銅)単線	φ1.6	BB9924	定格電流30 Aは接続不可
	φ2.0		
	φ2.6		
Cu(銅)より線	1.25 mm ²	BB9921	定格電流20・30 Aは接続不可
	2.0 mm ²		定格電流30 Aは接続不可
	3.5 mm ²	BB9923	
	5.5 mm ²		
	8.0 mm ²		



取扱説明書

(保管用)

取扱者様へ

ご購入いただき、まことにありがとうございます。

- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
- 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

危険



- 端子部にはさわらない
感電の原因になります。

注意



- 点検や修理は電気工事店へ依頼する(この説明書を提示する)
不良工事は感電や火災の原因になります。
- 電気工事店へ5年に1回程度、端子ネジの増締め依頼をする
端子ネジのゆるみは発熱・発火の原因になります。

取扱上のご注意

- 定期的にテスト釦を押して、ブレーカが切「○」状態となることを確認してください。
- テスト釦を通常の切「○」操作には使わないでください。
- ブレーカの動作を確実にするため、負荷機器には必ずアースをとってください。
- ハンドルの再投入〔入「Ⅰ」〕後、即動作する時は負荷が短絡状態か、負荷回路の漏電、または機器の異常です。原因を取り除いた後ハンドルを入「Ⅰ」にしてください。
- 絶縁測定はハンドルを切「○」状態にし、電線を接続したまま本体の絶縁測定部で行ってください。(ハンドルが入「Ⅰ」状態で行うと、本体の漏電検知部が破損します)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工店

電話

パナソニック株式会社

パナソニック スイッチギアシステムズ株式会社

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地 TEL (代表) 06-6908-1131

© Panasonic Corporation 2012

8M5 858 007

PC0310-20318